

# 富士宮市文化財年報

第14号

令和5年度



富士宮市教育委員会

# 富士宮市文化財年報

第14号

令和5年度

富士宮市教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、令和5年度に実施した富士宮市内における文化財保護事業の概要をまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、文化財保存・管理事業、埋蔵文化財事業、郷土資料館事業、歩く博物館事業、市史編さん事業、その他の事業に分類した。
- 3 本書の執筆・編集は、富士宮市教育委員会教育部文化課の各担当（令和5年度）が行った。

#### 4 令和5年度文化財関係組織

|                        |        |           |
|------------------------|--------|-----------|
| 教 育 長                  | 池谷 眞徳  |           |
| 教 育 部 長                | 植松 宏幸  |           |
| 教育部参事兼文化課長兼埋蔵文化財センター所長 | 深澤 哲治  |           |
| 参事兼市史編さん室長             | 沼倉 直也  |           |
| 主幹兼学術文化財係長             | 中野 香織  | (文化財管理担当) |
| 学術文化財係学芸員              | 高橋 菜月  | (文化財管理担当) |
| 同 学芸員                  | 柿崎 沙織  | (文化財管理担当) |
| 埋蔵文化財センター主任学芸員         | 保竹 貴幸  | (埋蔵文化財担当) |
| 同 学芸員                  | 原 悠翔   | (埋蔵文化財担当) |
| 同 学芸員                  | 三上 能   | (埋蔵文化財担当) |
| 同 会計年度任用職員             | 馬飼野 行雄 | (埋蔵文化財担当) |
| 同 会計年度任用職員             | 小倉 久美  | (埋蔵文化財担当) |
| 市史編さん室主事               | 小倉 匠   | (市史編さん担当) |
| 同 学芸員                  | 松本 将太  | (市史編さん担当) |
| 郷土資料館会計年度任用職員          | 渡井 一信  | (郷土資料館担当) |
| 同土資料館会計年度任用職員          | 川合 里佳  | (郷土資料館担当) |

《表紙写真：白糸ノ滝自然環境育成エリア・音止の滝展望場》

# 目 次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 富士宮市文化財年報第 14 号の刊行にあたって          | 1  |
| <b>I 令和 5 年度の文化財保護事業</b>         |    |
| 1 概要                             | 3  |
| 2 文化財保護事業一年の歩み                   | 4  |
| <b>II 文化財保存・管理事業</b>             |    |
| 1 文化財保護審議会                       | 6  |
| (1) 文化財保護審議会の開催                  |    |
| 2 指定文化財整備事業                      | 6  |
| (1) 史跡「富士山」整備事業                  |    |
| (2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業          |    |
| (3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業                |    |
| 3 指定文化財保存管理事業                    | 7  |
| (1) 富士宮市文化財保護補助金の交付              |    |
| (2) 指定文化財保護対策事業                  |    |
| (3) 文化財防火デー                      |    |
| (4) 湧玉池調査検討会議                    |    |
| 4 (仮称) 富士宮市立郷土史博物館推進事業           | 10 |
| (1) (仮称) 富士宮市立郷土史博物館構想周知事業       |    |
| 5 富士宮市文化財保存活用地域計画作成事業            | 11 |
| (1) 市民との意見交換                     |    |
| (2) 文化財保存活用地域計画協議会の開催            |    |
| 6 その他                            | 12 |
| (1) サイン整備事業                      |    |
| <b>III 埋蔵文化財事業</b>               |    |
| 1 整理作業、報告書刊行                     | 13 |
| (1) 『富士宮市の遺跡Ⅷ』(資料整理作業・発掘調査報告書刊行) |    |
| (2) 滝戸遺跡発掘調査(資料整理)               |    |
| 2 開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査           | 14 |
| (1) 峯石遺跡                         |    |
| (2) 五反田遺跡                        |    |
| 3 埋蔵文化財活用事業                      | 18 |
| 4 富士宮市埋蔵文化財センター                  | 18 |
| (1) 施設概要                         |    |
| <b>IV 郷土資料館事業</b>                |    |
| 1 展示                             | 19 |

|                     |    |
|---------------------|----|
| (1) 企画展             |    |
| 2 資料収集・保存管理         | 20 |
| (1) 資料収集            |    |
| (2) 保存管理            |    |
| V 歩く博物館事業           |    |
| 1 標柱・説明板整備          | 22 |
| 2 歩く博物館探索会          | 23 |
| VI 市史編さん事業          |    |
| 1 概要                | 24 |
| 2 市史編さん委員会          | 24 |
| (1) 市史編さん委員会の開催     |    |
| 3 分野別の活動            | 24 |
| (1) 自然環境            |    |
| (2) 民俗              |    |
| (3) 考古              |    |
| (4) 中世              |    |
| (5) 近世              |    |
| (6) 近現代             |    |
| 4 その他               | 25 |
| VII その他の事業          |    |
| 1 問合せ対応             | 26 |
| 2 小中学校総合学習への対応      | 26 |
| 3 講師派遣              | 26 |
| (1) 富士山まちづくり出前講座    |    |
| (2) その他の講座          |    |
| 資料 i 各委員会等委員名簿      | 27 |
| 資料 ii 富士宮市内指定文化財等一覧 | 31 |

# 富士宮市文化財年報第 14 号の刊行にあたって

文化課長 中野 香織

『富士宮市文化財年報』第 14 号の刊行にあたり、令和 5 年度の富士宮市文化財保護行政の現状を振り返ってみることにします。

## 1 世界文化遺産富士山 登録 10 周年の節目にあたって

富士山は、令和 5 年 6 月 22 日に世界文化遺産登録 10 周年を迎えました。

全国的に令和 2 年から新型コロナウイルス感染症により人々の行動が制限されてきましたが、令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症に移行し、様々なイベントが再開または通常開催されるようになり、登録 10 周年を記念した市のイベント『富士山世界遺産登録 10 周年祭』も浅間大社駐車場と商店街を会場に賑やかに開催されました。

文化課においても、郷土資料館企画展示で、「富士山世界遺産登録 10 周年記念展―構成資産整備のあゆみ―」を開催し、開催に合わせて、静岡県富士山世界遺産センターの大高康正氏による特別講演会「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」を開催しました。

世界遺産富士山の構成資産のうち、富士宮市内には 6 つの構成資産がありますが、この 10 年間で、富士山本宮浅間神社では「神田川ふれあい広場整備」、富士山域では「奥宮改築工事」、山宮浅間神社では参道等の整備、白糸ノ滝では滝つぼの整備、尾根部の売店移転と公園整備、人穴富士講遺跡では碑塔の修復と溶岩洞穴人穴の整備、村山浅間神社では大日堂の保存修理工事を行いました。

整備は継続しており、令和 5 年度も富士山本宮浅間大社、白糸ノ滝、村山浅間神社では、整備工事や整備に向けた調査を行いました。

富士山は、富士山信仰や芸術の源泉として世界遺産に登録されていますが、富士宮市民にとっては、自然の恵みや脅威をもたらし、その中で様々な歴史文化が育まれてきました。世界遺産としての価値だけでなく、富士宮市の歴史文化も含めて、市民の皆様に富士山とその歴史文化を伝えていきたいと感じています。

## 2 郷土資料館休館に向けて

郷土資料館がある市民文化会館は、令和 6 年、7 年度にリニューアル工事を実施し、安全で、より使いやすい施設として、これからも長く使っていただけるように整備をします。

この工事に伴って、郷土資料館が休館となることから、年 3 回の企画展示のうち 3 回目に「郷土資料館 53 年の軌跡」として、郷土資料館開館、閉館、そして市民文化会館整備に伴う会館内への設置について、また、過去の企画展示からいくつかの展示を紹介しました。

展示期間中には、学芸員 OB の渡井一信さんを講師に迎えて、富士宮市における博物館検討の経緯や郷土資料館職員としての行われた活動について講座を開催しました。

近代から現代までの富士宮市の成り立ちの中での歴史文化のとらえ方と、前郷土資料館を整備した時代の歴史文化のとらえ方などから、現在、郷土史博物館を目指すようになった背

景を知ることができました。

郷土資料館は、富士宮市の歴史文化について、様々な角度から、また、その時の社会や行政の状況に応じて、市民に理解いただけるような展示を行ってきました。これらの展示をとおして、市民が富士宮市を理解し、郷土愛が育むことに寄与してきた郷土資料館での活動を、今後も継続していかなくてはならないと考えています。

休館前の区切りの年として、日々の業務が忙しい中、手分けしながら全3回の展示を作成してくれた学芸員の皆様に感謝します。

### 3 文化財保存活用地域計画作成の開始

平成30年に文化財保護法が改正され、文化財保存活用地域計画が規定されました。その背景として、社会の変化により文化財を守ることが難しくなっていることがあります。

富士宮市には88件の指定等の文化財がありますが、市の各地域で守られてきた神社やお寺、祭りや年中行事、小さな石造物、古い建物や橋などの土木構造物など、指定文化財ではないけれど、市内には古くから守られてきた文化財を見つけることができます。また、民話や伝承といった言葉で伝えられてきた話も市内各地にあります。こうしたものは、地域の歴史文化を知るきっかけであり、地域を特徴づけるものにもなり得ます。

しかし、社会環境が変わり、それらを使う人、気にする人、話題にする人がいなくなると、気が付いた時には、新しいものに作り変えられたり、廃棄されたりしてしまいます。時代は進んでいますので、より使いやすいものになっていくことは仕方ありませんが、そうした新しいものを検討するときに、守ることも考えてもらえたらと思います。せめて記録だけでも残しておこうとか。或いは、改めて調べてみたら、面白い、魅力があるからもっと多くの人に知ってもらいたいし、未来にも伝えたいとか。

市では、市民をはじめとした関係する人たちが、そんな風に富士宮市の歴史文化のことを考えて行動に移してもらえるように、富士宮市の歴史文化を保存活用するためのマスタープランとアクションプランを兼ね備える「富士宮市文化財保存活用地域計画」の作成を始め、令和7年12月の国の認定を目指しています。

作成にあたって、各地域をまわり計画の説明をし、また、地域の歴史文化について教えていただきました。参加された皆様に教えていただいたことを計画作成に生かしていきたいと考えています。ありがとうございました。

### 4 むすびに

富士宮市の文化財行政においては、多種多様な文化財の調査・保存や、公開・活用に向けた史跡整備、文化財を市民に知ってもらう学習会の開催、市史編さん事業など多くの事業に取り組んでいます。しかしながらその他にも課題は山積しています。

このような状況の中ではありますが、市民が多彩で豊かな富士宮市の歴史に誇りを持てるよう、文化財の保存・活用を図るとともに、文化財の一層の掘り起こしに努め、調査研究の成果を市民のみなさんに還元していきたいと考えています。富士宮市の豊かな歴史を守り伝えていくために、これからも、関係者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

# I 令和5年度の文化財保護事業

## 1 概要

富士宮市における令和5年度の文化財保護関連事業の概要は、下記のとおりである。

### 〈文化財保存・管理事業〉

史跡「富士山」、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」、史跡「大鹿窪遺跡」の各文化財について、各整備委員会等の指導を得て調査・整備等の事業を実施した。

史跡「富士山」については、「村山浅間神社」において村山浅間神社側の石段の下段の発掘調査及び修理を行った。また、龍頭池の痕跡調査を行った。

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」では、音止の滝の西側崖面の保護のため、測量・地質調査を実施し、実施設計を作成した。また、「名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画」（平成23年度策定、令和4年度改定）に基づき、文化財指定当時の自然環境の回復及び風雨等による尾根部の浸食防止を図るため、盛土や植栽、浸食防止マット敷設などの整備を行うとともに、来訪者への安全対策として転落防止柵等を設置した。さらに音止の滝の安全な展望場を設置した。

史跡「大鹿窪遺跡」では、令和3年度に作成した実施設計に基づき、3か年で予定している整備工事の2か年目を実施した。

（仮称）富士宮市立郷土史博物館については、構想周知のため、縄文土器の文様合わせや印判づくりなどの講座を開催し、その中で構想について説明を行った。

また、文化財保存活用地域計画作成のために、地域説明会や公聴会、ワークショップなどを開催するとともに、市政モニターアンケートの調査なども行った。

その他、文化財防火デー（1月26日）における防火運動の実施や、市内指定文化財の保存・管理事業への補助金交付や未指定文化財調査等、文化財保存・管理事業を推進した。

### 〈埋蔵文化財事業〉

令和3年度に実施した滝戸遺跡の発掘調査の資料整理作業を行った。また市に寄贈された旧加藤学園考古学研究所所蔵の考古資料の整理作業を行い、報告書を刊行した。

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を21件実施した。

### 〈郷土資料館事業〉

郷土資料館において、常設展のほか企画展を実施した。

資料収集・保存管理事業として、民俗資料等の収集と収蔵品くん蒸を実施した。

### 〈歩く博物館事業〉

大宮西地区を巡る歩く博物館探索会を10月21日に開催した。また、北山地区での探索を2回計画したが、雨天により中止した。

市内各地の既存の標柱・説明板の説明内容の更新、および修繕を行った。

〈市史編さん事業〉

市史の分野別に打合せ、調査を継続して実施した。

市史編さん委員会では、自然環境編の冊子完成報告や、民俗編・通史編Ⅰの刊行に向けた検討を行った。

〈その他の事業〉

市内の歴史・民俗等に関する問合せに対応したほか、小中学校の総合学習（富士山学習）への対応や、富士山まちづくり出前講座等の講師を務めた。

## 2 文化財保護事業一年の歩み

〈令和5年〉

- 4月14日 第1回市史編さん委員会開催
- 4月19日 第1回文化財保護審議会開催
- 4月24日 第1回特別天然記念物「湧玉池」調査検討会議開催
- 5月11日 東田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 5月20日 郷土資料館企画展「どうなる、富士宮？一家康が生きた時代をたどるー」展開催（7月10日まで）
- 5月25日 上宿遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 6月7日 第1回史跡大鹿窪遺跡整備委員会開催
  - 〃 浅間大社遺跡（史跡内）埋蔵文化財確認調査実施（6月30日まで）
  - 〃 貴船町遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 6月13日 第1回名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会開催
- 6月24日 文化財を守り未来に伝えるためのワークショップ（ほか7月1日・8日 計3回）
- 7月2日 郷土資料館企画展 特別講演会「戦国時代の河東地域」開催
- 7月4日 石敷遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月7日 五反田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月14日 五反田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月19日 時田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月22日 郷土資料館企画展「世界遺産富士山10周年記念展 構成資産整備のあゆみ」展開催（10月15日まで）
- 7月25日 東谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 7月27日 宝田遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 8月3日 歴史ワークショップ「自分だけの「印判」を作ろう」開催
- 8月5日 歴史ワークショップ「縄文土器を調べてみよう」開催
- 8月9日 第2回特別天然記念物「湧玉池」調査検討会議開催
- 8月18日 小泉向原遺跡埋蔵文化財確認調査実施
- 8月18日 「作ろう！勾玉！」教室開催（～19日）

8月24日 第1回文化財保存活用地域計画協議会開催  
 9月2日 村山浅間神社遺跡（史跡内）埋蔵文化財確認調査実施  
 9月10日 『富士宮の歴史』刊行記念講演会「富士宮をつくった大地と自然の物語」開催  
 9月11日 野中中村遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 9月13日 第1回史跡富士山整備委員会開催  
 9月14日 第2回文化財保護審議会開催  
 9月15日 上宿遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 9月22日 郷土資料館収蔵品くん蒸実施（9月24日まで）  
 10月10日 浅間大社遺跡（史跡内）埋蔵文化財確認調査実施（令和6年2月26日まで）  
 10月21日 第1回歩く博物館探索会「大宮西地区（歩く博物館H西コース）」実施  
 10月27日 第3回特別天然記念物「湧玉池」調査検討会議  
 10月28日 郷土資料館企画展「郷土資料館-53年の軌跡-」展開催（令和6年3月31日まで）  
 10月31日 文化財保存活用地域計画地域説明会&公聴会（12月14日まで 計12回）  
 11月7日 貴船町遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 11月29日 峯石遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 12月7日 坊地上遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 12月13日 猫沢中村谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 12月19日 村山浅間神社遺跡（史跡内）埋蔵文化財確認調査実施（12月27日まで）

〈令和6年〉

1月19日 第3回文化財保護審議会開催  
 1月23日 第4回特別天然記念物「湧玉池」調査検討会議  
 1月25日 神祖2号墳近接地埋蔵文化財確認調査実施  
 1月26日 文化財防火デー  
 1月31日 五反田遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2月2日まで）  
 2月5日 「静岡県有形文化財指定記念 村山浅間神社関係資料」展（2月9日まで）  
 2月9日 第2回文化財保存活用地域計画協議会開催  
 2月14日 石畑遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 2月22日 第2回市史編さん委員会開催  
 2月27日 下ヶ谷戸遺跡埋蔵文化財確認調査実施（2月28日まで）  
 3月5日 五反田遺跡埋蔵文化財確認調査実施  
 3月12日 古文書講座「古文書に挑戦して戦国時代の富士宮を学ぼう」開催

## Ⅱ 文化財保存・管理事業

### 1 文化財保護審議会

#### (1) 文化財保護審議会の開催

第1回 開催日：令和5年4月19日（水）

内 容：「郷土資料館の休館」「資料購入」「文化財保存活用地域計画」「文化財指定候補物件の現状」

第2回 開催日：令和5年9月14日（木）

内 容：「委員改選」「市内の指定文化財の現況」「文化財指定候補物件の現状」「資料購入」「文化財保存活用地域計画進捗」

第3回 開催日：令和6年1月9日（金）

内 容：「村山浅間神社所蔵資料の県指定」「平等寺三門について」「特別天然記念物『狩宿の下馬ザクラ』について」「郷土資料館事業」「文化財保存活用地域計画進捗報告」

### 2 指定文化財整備事業

#### (1) 史跡「富士山」整備事業

史跡「富士山」（平成23年2月7日指定）について、史跡富士山整備委員会の指導を受けながら、史跡整備事業を実施した。また、便益施設及び史跡内の管理（草刈り等）については地元の地域団体等に委託して実施した。

#### ア 史跡富士山整備委員会の開催

第1回 開催日：令和5年9月13日（水）

内 容：令和5年度整備事業の説明（神田川沿いの整備、村山浅間神社発掘調査について及び現場確認）。

令和6年度の整備事業計画の説明（富士山本宮浅間大社参道の整備について（参道確認調査結果報告等）、村山浅間神社石段について）。

#### イ 各構成資産の調査・整備

##### (ア) 村山浅間神社整備事業

「龍頭池」の位置を調査するため、地中レーダー探査とハンドオーガ（手掘り式ボーリング機）を使用し、これまでより広い範囲で龍頭池の痕跡を調査した。また、村山浅間神社側の下段の石段について修理を実施した。

文献調査等から、宝永噴火以前の大日堂は、現在より西側にあったと考えられたため、

古絵図等から想定される場所の発掘調査を実施した。

(イ) 富士山本宮浅間大社整備事業

旧参道について、位置の確定や構造の情報を確認するため発掘調査を実施した。

(2) 名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備事業

「名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画」（平成 24 年度富士宮市策定、令和 4 年度改定）に基づき、令和 3 年度に買い上げた既存店舗跡地について測量および地質調査を実施し、実施設計を作成した。また、風致景観や来訪者の周遊性・安全性に配慮した公園・排水施設等の整備工事、及び音止の滝の展望場の整備工事を完了した。

便益施設及び指定地内の管理（草刈り等）については、地元の業者に委託し実施した。

ア 名勝及び天然記念物白糸ノ滝整備委員会の開催

第 1 回 開催日：令和 5 年 6 月 13 日（火）

内 容：音止の滝展望場整備工事・令和 5 年度の自然環境整備工事の内容説明と「白糸ノ滝整備基本計画」（平成 24 年度富士宮市策定）の改定内容の説明。指定地内からの富士山眺望に配慮した樹木伐採及び植林計画について説明。

(3) 史跡「大鹿窪遺跡」整備事業

「大鹿窪遺跡」（平成 20 年 3 月 28 日指定）について、令和 3 年度に作成した実施設計に基づき、3 か年で予定している整備工事の 2 か年目を行った。また、適正な保存・公開・活用を検討するため、史跡大鹿窪遺跡整備委員会を開催した。その他、史跡管理のため、指定地内（約 6,600 m<sup>2</sup>）の草刈を地元区に委託して実施した。

ア 史跡大鹿窪遺跡整備委員会の開催

第 1 回 開催日：令和 5 年 6 月 7 日（水）

内 容：令和 4 年度整備工事の完了報告、年度別工事内容の変更、令和 5 年度の工事内容の変更及び施工方法について、検討を行った。

### 3 指定文化財保存管理事業

(1) 富士宮市文化財保護補助金の交付

「富士宮市文化財保護補助金交付要綱」に基づき、以下の通り市内指定文化財の管理・保存・活用事業に対して補助金の交付を行った。

ア 国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」指定文化財管理事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：国指定重要文化財「富士山本宮浅間神社本殿」の自動火災報知設備・消火設備・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

イ 県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」指定文化財管理事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：県指定有形文化財「富士山本宮浅間大社社殿」の自動火災報知設備・消火設備・避雷針の保守点検等の文化財管理事業を実施した。

ウ 国指定文化財「富士山本宮浅間神社本殿」防災設備整備事業

補助事業者：宗教法人 富士山本宮浅間大社

事業内容：本殿について、令和4年度から5年度までの2ヶ年計画として、既設消火ポンプ更新工事、ステンレスパネル貯水槽新設工事、既設放水銃更新工事、屋外易操作性消火栓増設工事を実施することとした。令和5年度は、放水銃およびそれにかかわる消火栓の取り換え（令和4年度購入済）・配管の改修と貯水槽（65t）の増設を行った。

エ 市指定有形文化財「平等寺の三門」保存・管理事業

補助事業者：浄土宗 平等寺

事業内容：三門の全体が傾斜し、また漆喰や瓦が劣化し、地面に落下している状態であるため、解体修理工事を実施する必要がある。令和5年度は、工事に先立ち、調査及び修理・耐震計画策定を行った。

オ 市指定天然記念物「平野のエドヒガンザクラ」管理事業

補助事業者：上羽鮎区平野町内会

事業内容：地面近くまで伸びている枝が通行等に支障をきたしており、樹体への負担も懸念されるため、適切な位置で枝の剪定を行った。また、桜について、人の行き来により根元が踏み固められてしまうと、水分や養分を吸収する根がダメージを受け、樹勢が衰弱し、枯損してしまう危険性があるため、根元の保護のため周辺に立ち入りを制限するための柵を設けた。

カ 市指定有形文化財「大日如来坐像」等保存活用事業

補助事業者：宗教法人 村山浅間神社

事業内容：村山浅間神社大日堂所在の市指定文化財「大日如来坐像（胎蔵界）」他5点の市指定文化財について、防カビ・防虫のためのくん蒸を行った。

キ 市指定有形文化財「中央町のカヤ」保存管理事業

補助事業者：所有者

事業内容：道路への落葉が問題になっていたため、樹木医に相談の上、道路に伸びた西側の枝の剪定を行った。

## (2) 指定文化財保護対策事業

国指定特別天然記念物「狩宿の下馬ザクラ」、県指定天然記念物「西山本門寺のヒイラギ」の樹勢保持のため、令和6年3月に施肥・消毒等を実施した。

また「狩宿の下馬ザクラ」について、近年樹勢の衰退とウメノキゴケの付着が指摘されていたため、今後の対応を検討するため樹木医による調査を行った。



写真1 狩宿の下馬ザクラ（施肥）

## (3) 文化財防火デー

文化財防火デーは、国民全体の重要な宝である文化財を火災や震災などの災害から守るために昭和30年に定められたもので、毎年1月26日を中心に全国で文化財防火運動が実施されている。

市内では、富士山本宮浅間大社と大石寺で防火訓練が実施された。また、消防本部による消防設備の点検や、東京電力パワーグリッド（株）富士支社の協力による指定文化財建造物の漏電検査を行った。



写真2 防災訓練（大石寺）



写真3 防災訓練（富士山本宮浅間大社）

## (4) 湧玉池調査検討会議

特別天然記念物「湧玉池」は、現在定期的な清掃により景観を保っているが、今後の「景観の現状維持」のために、どのように現状を把握し、どのような調査が必要か検討するために専門家や国調査官を招いて、4回に渡り協議を実施した。

### ア 協議メンバー

|                            |                  |      |
|----------------------------|------------------|------|
| 早川 宗志                      | 静岡県地球環境史ミュージアム   | 水生植物 |
| 鳥居 高明                      | 株式会社いであ          | 水生生物 |
| 小林 淳                       | 静岡県富士山世界遺産センター   | 地質   |
| 村中 康秀                      | 静岡県環境衛生科学研究所     | 湧水   |
| 柴田 伊廣                      | 文化庁文化財第二課天然記念物部門 | 調査官  |
| 木内 咲良                      | 静岡県文化財課          |      |
| ほか、市役所文化課、富士山世界遺産課、花と緑と水の課 |                  |      |

## イ 協議実施日

第1回 令和5年4月24日(月)、第2回 令和5年8月9日(木)

第3回 令和5年10月27日(金)、第4回 令和6年1月23日(火)

## ウ 内容

湧玉池清掃の日に状況を見たり、水中の生物調査を行った結果を検証したりしながら、現在の景観を維持するために、どのような現状把握や調査が必要か協議を行った。

## エ 水中生物分析調査

4月、10月の現地観察の際に採取した底生生物と藻について分析を実施した。

## オ 来年度以降の取組み

- ・令和6年度に底生生物調査を実施する
- ・モニタリング(写真で定点記録)を続ける
- ・市民目線の意見聴取の実施

# 4 (仮称) 富士宮市立郷土史博物館推進事業

## (1) (仮称) 富士宮市立郷土史博物館構想周知事業

### ア 歴史ワークショップ「縄文土器を調べてみよう」

実施日 令和5年8月5日(土)

場 所 富士宮市埋蔵文化財センター

内 容 (仮称) 郷土史博物館構想についての説明、  
縄文土器からわかること説明  
拓本製作体験、縄文土器の文様合わせ及び分類体験

対 象 市内在住の児童・生徒とその保護者

参加者

| 回  | 参加家族数 | 大人  | 子ども | 合計人数 |
|----|-------|-----|-----|------|
| 午前 | 8人    | 8人  | 20人 | 28人  |
| 午後 | 7人    | 7人  | 15人 | 22人  |
| 合計 | 15人   | 15人 | 35人 | 50人  |

### イ 歴史ワークショップ「自分だけの「印判」を作ろう」

実施日 令和5年8月3日(木)

場 所 市役所410会議室

内 容 学芸員による解説(印判の解説・作り方説明)

(仮称) 郷土史博物館構想についての説明

「博物館はこんなところ、博物館に行ってみよう」



写真4 配布チラシ



写真5 配布チラシ

対 象 市内在住の小学生と保護者  
参加者 定員 20 組 参加者 20 組 (47 人)

ウ 博物館利用についてのチラシ作成・配布

内 容 「夏休みだ！行ってみよう博物館」として、博物館の楽しみ方などと近隣の博物館の紹介チラシを作成し、市内小学生に配布した。

エ 古文書を読んで、戦国時代の富士宮を学ぼう

実施日 A：令和 5 年 12 月 9 日（土）・16 日（土）  
B：令和 5 年 12 月 13 日（水）・20 日（水）

場 所 市役所 630 会議室

内 容 古文書読解チャレンジ・解説  
学芸員による解説「富士大宮司と大宮司富士氏文書について」「今川氏と富士宮について」「武田氏の駿河侵攻と富士宮」  
（仮称）郷土史博物館構想についての説明  
「地域資料の収集・保管と博物館の意義について」

対 象 市内在住・在勤の人

参加者 定員 12 人（両日程） 参加者 A：6 人・B：5 人

## 5 富士宮市文化財保存活用地域計画作成事業

### （1） 市民との意見交換

ア 文化財を守り未来に伝えるためのワークショップ

実施日 令和 5 年 6 月 24 日（土）、7 月 1 日（土）・8 日（土）

参加者 11 人

内 容 文化財の保存について個人でできること、グループでできること、他団体とできること、行政の関りが必要なこと等のアイデアを出し合った。

イ 地域説明会&公聴会

実施日 令和 5 年 10 月 31 日（火）～12 月 14 日（木） 計 12 回

参加者 計 147 人

内 容 文化財についての説明と歴史文化に関するアンケートを交えながら、グループで地域の歴史文化について職員が聞き取りを行った。

ウ 市政モニターアンケート

実施日 令和 6 年 2 月 15 日（月）～29 日（木）

回答者 市政モニター 43 人

内 容 文化財を守り活用していくためにどのような取り組みが必要かアンケートを行った。

(2) 文化財保存活用地域計画協議会の開催

ア 第1回 開催日：令和5年8月24日（木）

内 容：地域計画の説明と作成スケジュール、富士宮市の歴史文化の特徴  
についての意見交換

イ 第2回 開催日：令和6年2月9日（金）

内 容：地域説明会報告、市の概要と文化財の特徴、将来像と基本方針につ  
いて協議

## 6 その他

(1) サイン整備事業

ア 曾我物語看板作成

曾我物語の関連地を案内するための標識、及び錦絵を利用して曾我物語をわかりや  
すく説明した看板を白糸ノ滝駐車場に設置した。

イ 曾我の各例話等誘導サイン設置

県道からの進入路の入り口に、「曾我の隠れ岩」や「工藤祐経の墓」への誘導サイ  
ンを設置した。